

中国

上海浦東国際空港建設事業



本事業により建設された新空港ターミナル

[借款概要]

承諾額/実行額	40,000百万円 / 39,102百万円
借款契約調印	1997年9月
借款契約条件	金利2.3%、返済30年（据置10年）
貸付完了	2002年9月

[事業概要]

上海市の航空需要の増加に対応するため、既存の虹橋空港とは別に、浦東新区に主に国際線を扱う新空港を建設するもの。

[評価結果]

上海市は1995年時点の航空取扱量が旅客1,108万人（全国3位）、貨物37万トン（同2位）と中国の航空輸送の拠点である。

本空港は旅客・貨物量の増大に対処するため、2005年の需要に対応する第1期事業として実施され、4,000mの滑走路・誘導路、旅客・貨物ターミナルビル、通信・給油等の諸施設が2000年8月に完成した。

同年の利用旅客数は計画の700万人を下回る555万人であったが、これは本格的な運用開始が年度後半にずれ込んだこと、浦東空港へのアクセスが良くなかったこと等の事情がある。しかしながら、新空港と既存虹橋空港の利用旅客数の合計は2000年に20%を超える伸びを示していることから、今後、市内中心部から新空港へのアクセスが改善されれば、旅客数はさらに増加することが見込まれる。他方、貨物取扱量は計画を上回る実績（27万トン/年）となっており、既存の虹橋空港からのシフトが始まっているものと見られる。

なお、新空港の運営等については関連3社が分担して行なっているが、各社の収益状況を含め問題は見られない。